

「自分事として」

240110

もう一つが羽田空港飛行機事故です。この事故も前代未聞の事故で、誰もが全く予想のできない事故でした。乗っていた389人の方は、飛行機内に閉じ込められ、絶体絶命の状況の中で、CAの的確な判断と指示、乗客の規律と冷静な対応によって、全員が無事に避難することができました。海外からは、「ミラクル」と報道されるこの裏には、CAが定期的に実践的な避難誘導訓練を受け、それを実行したこと、そして、その指示を守って行動した乗客の行動力があったからだと言われています。みなさんが定期的に実施している、学校での避難訓練が、そういった危機的な場でも指示に従って動くことにつながったと言われています。

地震による災害も、飛行機事故などの災害も、いつ起こるかは全く分かりません。わからないけれども、「他人事ではない」、「必ず自分の身にも起きること」として、今できる準備をしておくことの大事さを痛感させられたのではないのでしょうか。そして、本当に起きてしまった時は、正しい自己判断ができるのかが問われ、それが自分の命、そして人の命をも左右することにもなります。この機会にしっかりと「自分事」として考えてみてください。



警戒レベル	新たな避難情報等		これまでの避難情報等
5	 災害発生 又は切迫	きんぎゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保 ※1	災害発生情報 (発生を確報したときに発令)
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~			
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b> ※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> ※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。  
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。  
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。